

せたな町立国保病院 改革プラン実施状況の公表



平成19年12月総務省は、全国の地方公共団体に「公立病院改革プランの策定」を義務づけました。せたな町では平成20年12月に「せたな町立国保病院改革プラン」を策定し、町民の皆さんにより良い医療を提供できるようさまざまな病院改革に取り組んできております。今月号では、策定から1年が経過した国保病院改革プランの実施状況とせたな町医療対策等審議会からの評価についてお知らせします。

1 地域連携室設置（ソーシャルワーカーの配置）

○取組内容

平成21年4月に地域連携室を事務室内に設置、専任職員を配置しました。



○効果

町内外の医療機関、グループホーム及び特別養護老人ホーム等と緊密かつ円滑に連携を取り、入院、外来患者の紹介、受け入れをスムーズに行いました。

また、在宅を希望する患者には、福祉サービスや公費負担援助等について助言し、ケアマネ、保健師と連携を取り、在宅で生活できるような橋渡しをしました。

○今後の課題

業務は個人情報に関することが主なことから、地域連携室を看護師長室の中に移し、患者の相談に対応することとしています。

2 患者の声「ご意見箱」の充実

○取組内容

病院、情報センターに「ご意見箱」を設置し、寄せられた意見とその回答を院内掲示板に掲示しています。

○効果

ご意見をもとに、院内土足の実施、外来待合室の長椅子の配置変更、エレベーターの設置など院内環境を改善しました。また、職員の対応については患者や家族の方からの声に耳を傾け、改善に努めました。

○今後の課題

院内会議で問題点を共有、協議し改善を図っていますが、患者への対応、院内環境等の改善に一層努めます。



3 院外処方への導入

○取組内容

平成21年10月から院外処方を開始しました。

○効果

医療法に定める薬剤師の標準

数を充たせるようになりました。院外処方の導入により臨時薬剤助手の人件費を削減しました。

○今後の課題

医事レセプトコンピュータへの打込処理を迅速にし、病院での処方箋発行までの待ち時間の短縮に努めます。



4 訪問看護ステーションの国保病院への移設

○取組内容

平成21年4月に瀬棚診療所から町立国保病院へ移設しました。管理者一名、看護師2名体制

○効果

平成20年度事業収益 706万5,000円

○今後の課題

医師の判断に基づき、入院患者を在宅療養に切り替え、訪問看護に移行しやすい体制づくりに取り組みます。

5 循環器科、整形外科等の委託診療の充実

○取組内容

委託診療を実施しました。
循環器内科／月1回
整形外科・眼科／月2回
婦人科／月4回

○効果

平成20年度診療報酬 3,611万1,000円

○今後の課題

現在の診療日数を維持し、患者のニーズに対応します。

